

集え！理数好きな
中学生！

令和8年度 中学生科学コンテスト

写真は全て令和7年度に行った
中学生科学コンテストの様子です。

令和7年度の各競技

実技競技Ⅰ（事前公開）

「紙を落下させて遠くへ飛ばそう！」



測定に取り組む様子 製作した滑空機の例
コピー用紙とクリップ、セロハンテープ
で製作した滑空機をスタンドにつるした
洗濯ばさみで挟み、落下
させたときの垂直移動距離
を得点化してその得点を
競いました。

令和7年度の実技競技Ⅰの
様子をこちらで見られます。



筆記競技



課題に取り組む様子

チームで協力して、六つの分野
（物理・化学・生物・地学・数学・情報）
の問題に解答し、その合計得点を
競いました。

実技競技Ⅱ（当日公開）

「より高い工作物をつくろう！」



製作に取り組む様子 製作した工作物の例

工作用紙のみで製作した工作物
に質量32gの鋼球を載せ、競技台
から工作物に載せた鋼球上部まで
の高さを得点化してその得点を競
いました。

3人一組のチームで理科・数学等の能力を競い合います。

日付

令和8年8月1日(土)

会場

京王アリーナTOKYO(調布市)

対象

都内の中学校※に通う中学1・2年生

※ 義務教育学校後期課程、中等教育学校前期課程、特別支援学校中学部を含む。

申込み

令和8年4月中旬募集開始(予定)

申込み方法等は募集開始時に
お知らせします。

令和7年度の概要



表彰式

「令和7年度 中学生科学コンテスト」の表彰式を令和7年11月16日（日）に東京ビッグサイトで行いました。今年度は、総合成績第1位から第10位までのチームと、各競技（実技競技Ⅰ、筆記競技、実技競技Ⅱ）の成績上位3チームの計19チームをTokyoサイエンスフェア内で表彰しました。

競技別の表彰もありますので、みなさんも入賞を目指して、ぜひ中学生科学コンテストに御参加ください。



表彰式における入賞チームの集合写真

東京都知事賞受賞チーム

中学生科学コンテストの総合順位の上位2チームには「東京都知事賞」が贈られます。ここでは、「東京都知事賞」を受賞した2チームが実技競技にどのように取り組んだかを紹介します。

東京都立小石川中等教育学校

丹下 哲 さん
高岸 感 さん
廣澤 明澄 さん



東京都立南多摩中等教育学校

永野間 晃大 さん
成田 悠暁 さん
檜田 大樹 さん



実技競技Ⅰ「紙を落下させて遠くへ飛ばそう！」

【事前準備・工夫した点】

飛行機を模した形や円柱形、二段移動型など様々な機体の形状を試し、最終的にはシンプルに空気抵抗を高め床を滑るような機体が最も安定して飛距離が伸びることが分かりました。よく飛んだ滑空機の形状を研究し、再現性を高めるための方法を突き詰めました。本番の直前まで、様々な検討を重ね、最終的には安定性を重視した滑空機に決めました。

【事前準備・工夫した点】

滑空機の羽が大きいほど空気抵抗が大きくなり飛距離は伸びるけれども、同時にバランスを取るのが難しくなることが分かりました。そこで、0.5cm刻みで最適な羽の大きさを試していき、本番用の滑空機の形を決定しました。しっかりと事前準備をして当日を迎えたので、当日は余裕をもって競技に臨むことができました。

実技競技Ⅱ「より高い工作物をつくろう！」

【当日のひらめき、エピソード等】

10分間の設計の時間を使って、三角形を組み合わせて作る案を考えました。製作の時間終了5分前に完成し、鋼球を載せてみましたが、倒れそうになったため、強引に工作用紙の角度を修正しました。設計の時間がなければ、あまり考えずに製作を始め、無駄に紙を切ってしまったのではないかと思います。

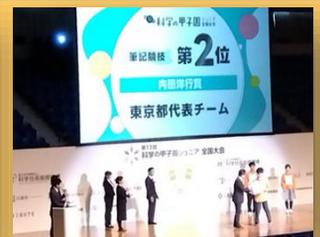
【当日のひらめき、エピソード等】

鋼球を載せる台座を作ることで、工作物に載せた鋼球を安定させることができました。また、工作物の1段目の側面に穴を開けて返しをつけ、細長くした工作用紙を差し込むことによって、形状を固定しました。設計の時間は10分間と短かったですが、チームで話し合い、方向性をしっかりと決めて、製作に臨むことができました。

上記の2チームは、12月12日（金）から14日（日）まで兵庫県姫路市で行われた「第13回科学の甲子園ジュニア全国大会」に東京都代表として出場し、筆記競技第2位、総合成績で優良賞に入賞しました。



開会式前の東京都代表チーム



表彰を受ける東京都代表チーム

理数好きな中学生のみなさん、全国大会出場を目指してみませんか？